

2017年 横須賀市市民体育大会 妙義山



妙義山 東岳・中之岳・西岳・星穴岳(右から)

記録 福澤 卓三

日 時 : 2017年10月27日(夜)～10月29日

メンバー : L山本 彰、福澤 卓三、女性会員1名

コースタイム :

10月27日(金) 横須賀中央(20:30)－中之岳駐車場(24:00)

10月28日(土) 駐車場(6:00)－中之岳駐車場(6:15)－コル(6:35－6:45)－岩室(9:10)－星穴岳(9:45)－大穴(結び穴)(11:45)－中之岳駐車場(13:00)－もみじの湯－東雲館

10月29日(日) 東雲館(8:30)－横須賀

10月28日曇

昨夜は順調に関越道から上信越道を通って妙義山の中之岳駐車場に入った。整備された駐車場は閉まっていたので下の駐車場に駐車した。上下とも100台以上は入れる大きな駐車場である。天幕を張り、軽く一杯やって寝た。少しでも横になって仮眠すると翌日楽である。

朝、6時に車を上の駐車場に移して出発。日本一という大黒様が見える鳥居をくぐり、急な階段を上ると中之嶽神社があり脇を通って、中之岳と西岳のコルをめざして顕著な道を登っていく。



中之嶽神社への鳥居



日本一大きい大黒様

しばらく山道を登り詰めていき、コルにでる手前でハーネスをセットした。コルにつきあげる鎖がついている20m位のルンゼがあり、バランスだけでも登れる。この上がコルの稜線だ。西岳へは岩場や馬の背があり両側が切れている。西岳の山頂に出て、ここから急な土壁を30mほど下る。下降点をさがすと稜線からすぐ下に残置の捨て縄があり簡単に見つかった。



土壁を下る残置の下降点



30mの土壁の下降ルート



せまい石室

ここから下り気味にトラバサしていくと石室が出てくるが室と言うには狭い。さらにトラバサしていくと岩稜にでて、星穴岳の基部にでる。ザックをデポして頂上にむかう。10数mの垂壁を、ザイルがあるがスタンス・ホールドがしっかりしているのでバランスでのぼる。この先が星穴岳で狭い頂上である。



星穴岳の頂上 (1073m)



山本会員

頂上からの下りは、さすがにザイルを出して懸垂下降をした。



星穴岳からの紅葉がきれい。



頂上から懸垂をする山本会員

ここからすぐ近くに星穴岳の小穴(居抜き穴)へ下る下降点がある。50mダブルでセットして、山本から下る。うまいもので早く下におり、コールがかかってくる。最後に福澤がおおりる。本番で降りるのは何年ぶりだろうか、未だに肩がらみで降りたいくらいである。福澤だけエイト環を使用したけど、急斜面で長い下降の時はスピードを出し過ぎると制動がきかなくなるので、気をつけたい。小穴を通過するのでそこが空中懸垂になる。真下に降りるくらいの余裕を

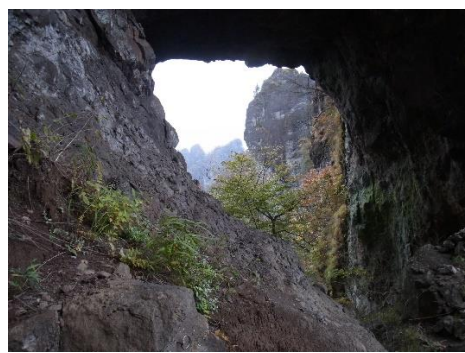


小穴を空中懸垂する福澤会員



大穴目指して快調に下降する福澤会員

もって下りたい。またハング下で台地に降りられるように下で引っ張っていてもよいと思う。今度は大穴(結び穴)を目指して下降する。下降点は近くにあり、後でザイルを引くためか斜面にある。流れを気にしながらセットする。こんどは45mのロングランであるが、空中懸垂はなく、斜面も少し緩いので快調に降りられるが、エイト環でスピードをだすと、かなりの熱をもち、ザイルもいためそうだ。下降点にザックをデポし、ルンゼを左上していくと大穴にでる。壁に穴があき、なかなか見事な自然の造形である。星穴岳は薄いのだと教えてくれる。こんな山には登ったことがない。



ここからも下りのルートがあったが、登ってきたルンゼをくんだり、ザックをデポした所から下る。トラバスぎみに下っていく、登山道はかすかについているので。注意深くテープを、確認しながらゆっくり下降した。轟岩を目指していたが、中之嶽神社のうえにでた。ルートも年々開拓されていったのだろう。



(登った南面からは見られなかったもので、北面からとった写真をネットから探して掲載しました)

星穴岳の下に穴2つ。右が大穴(結び穴)。左が小穴(居抜き穴)。直接星穴岳から大穴に下るルート(下降点)があった。

短いけれど楽しいルートであった。